

軌道事故に対する迅速な救助、安全管理を確認



立山砂防工事専用軌道(通称「トロッコ」)には、富山県と立山カルデラ砂防博物館が主催する「立山カルデラ砂防体験学習会」など工事関係者以外の方々が年間約2千人乗車しています。こうした方々がトロッコ乗車中での事故発生時に迅速な対応を図れるよう事故対応訓練を毎年実施しており、本年の訓練は平成21年から14回目の訓練となります。

訓練は、過去の軌道上の事故事例や安全管理の取り組み、事故発生時の対応等、安全管理上の知識習得を目的とした講義及びレスキューカート等による救助実技を中心に実施し、関係機関及び軌道関係受注者など28名が参加しました。

日時：令和4年6月28日(火) 13:30~16:00

場所：(講義) 事務所2F会議室

(実技) 訓練軌道 0.35km付近

参加機関：立山砂防事務所

(公財)立山カルデラ砂防博物館
軌道運行受注者 関係機関

第1部：講義(座学)

マニュアルや事例から学ぶ!

<講義内容>

- ① 車両運行中の事故・被災
- ② 安全管理の取り組み
- ③ 軌道乗車中の事故対応



第2部：実技訓練

想定被害：車両に落石が直撃し負傷者が発生

- ① 担架・レスキューカートの組立説明
- ② 搬送手順の説明
- ③ 実技訓練

実技訓練の様子



① 人車から怪我人搬出



② レスキューシート⇒担架



③ 担架搬送



④ 担架⇒レスキューカート



⑤ レスキューカート搬送



⑥ レスキューカート⇒モーターカー

落石発生!

